

日蓮宗 超立山 浄蓮寺



<input type="checkbox"/> 認定番号	第127号	<input type="checkbox"/> 認定年月日	令和8年3月30日
<input type="checkbox"/> 所在地	東区東桜二丁目17-44		
<input type="checkbox"/> 建築年	本堂・玄関：文化12年(1815年)、庫裏：天明4年(1784年)、書院：昭和9年(1934年)以前、 位牌堂：大正5年(1916年)、納骨堂：昭和25年(1950年)、屋根付き渡廊下：昭和9年(1934年)		
<input type="checkbox"/> 構造・階数	木造、一部RC造 地上 1 階、地下 1 階建て		
<input type="checkbox"/> 概要	<p>天正18年に清州にて創建された日蓮宗の寺。「清須越」にて慶長15年に建物ごと現在の地に移る。本堂・玄関は文化12年に再建された。庫裡は延宝8年に建てられたものが、天明4年に再建され、当時の棟札が残っている。その後、書院、位牌堂、納骨堂、屋根付き渡廊下などが設けられた。戦前、三菱重工の寮として利用され、寮生による消火活動で戦火を免れた。</p> <p>本堂・内陣の垂れ壁には、鳳凰を擬人化した天女を描写した14枚の壁画が残存する。本堂・内陣の格天井、黒塗りの柱・長押、庫裡には、重厚な梁など当時の意匠を残している。</p>		